



高里鈴代さんと 『基地の町に生きる』を観る

『基地の町に生きる (Living Along the Fenceline) 』(リナ・ホシノ監督、2011年、67分)は、米国本土、フィリピン、沖縄、韓国、プエルトリコ、グアム、ハワイの米軍基地周辺に住む女性たち7人が、米軍が駐留地域の人々の生活に与える影響を自らの経験に基づいて語った様子とそれぞれの地域の状況を記録したドキュメンタリー映画である。米軍駐留地域における性暴力、米軍の軍事活動による健康被害や環境汚染、先住民族の文化の破壊などの問題が女性の視点から語られており、軍事主義をジェンダーの視点から考える上で重要な作品。

「基地の町に生きる」上映と 高里氏によるトーク



講演：高里鈴代氏

基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表、沖縄強姦救援センター(REICO)代表、元那覇市議。沖縄、日本本土だけでなく、国際的に著名なフェミニスト平和活動家。本編に登場する女性たちが活動している「軍事主義を許さない国際女性ネットワーク」の設立メンバー。



日時：7月14日(火)

18:30-20:30

会場：志高館 SK110教室

入場無料・申込不要

共催：同志社大学フェミニスト・ジェンダー・
セクシュアリティ研究センター
後援：「女性・戦争・人権」学会

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科

Tel.075-251-3930 / E-mail: ji-gs@mail.doshisha.ac.jp